

## \* 整形外科スタッフのご紹介 \*

### 股関節担当医



整形外科診療部長  
久留 隆史  
(ひさとめ たかし)  
○出身大学  
・広島大学 平成3年卒  
○専門分野  
・股関節外科  
○専門医認定/資格など  
・日本整形外科学会専門医  
・厚生労働省認定難病指定医



股関節センター長  
湯朝 信博  
(ゆあさ のぶひろ)  
○出身大学  
・新潟大学 昭和56年卒  
○専門分野  
・股関節外科・肘関節・人工関節  
○専門医認定/資格など  
・日本整形外科学会/日本専門医機構整形外科専門医  
・日本整形外科学会認定スポーツ医  
・日本整形外科学会認定脊椎骨髄病医  
・日本整形外科学会認定リウマチ医  
・日本整形外科学会第7回研修指導者講習会受講  
・厚生労働省第39回義肢装具等適合判定医師研修会修了  
・臨床研修研究会平成11年度臨床研修指導医養成講習会修了  
・東京都身体障害者福祉法指定医(肢体不自由の診断)  
・厚生労働省認定難病指定医

### 膝関節担当医



救急医長  
橋場 伸一郎  
(はしば しんいちろう)  
○出身大学  
・北里大学 平成8年卒  
○専門分野  
・関節外科・外傷外科  
○専門医認定/資格など  
・日本整形外科学会/日本専門医機構整形外科専門医  
・日本麻酔科学会認定医  
・厚生労働省麻酔科標榜医  
・東京都身体障害者福祉法指定医(肢体不自由の診断)  
・厚生労働省認定難病指定医  
・日本整形外科学会第13回研修指導者講習会受講

### スポーツ整形担当医



スポーツ整形担当医  
井坪 広樹  
(いっぺ ひろき)  
○出身大学  
・獨協医科大学 平成20年卒  
○専門分野  
・整形外科一般  
○専門医認定/資格など  
・日本整形外科学会専門医  
・厚生労働省認定難病指定医

### 手外科担当医

整形外科医長  
門磨 知恵子  
(かどま ちえこ)  
○出身大学  
・北海道大学 平成17年卒  
○専門分野  
・手/肘外科疾患  
○専門医認定/資格など  
・日本整形外科学会専門医  
・日本手外科学会専門医  
・日本整形外科学会第17回研修指導者講習会受講  
・厚生労働省認定難病指定医  
・日本外傷診療研究機構JATECコース修了  
・デュピュイトラン拘縮研究会デュピュイトラン拘縮酵素注射療法適正使用講習修了

### 整形外科一般

医員  
加藤 高英  
(かとう たかひで)  
○出身大学  
・埼玉医科大学 平成23年卒  
○専門分野  
・整形外科一般

医員  
宮下 恒平  
(みやした こうへい)  
○出身大学  
・宮崎大学 平成24年卒  
○専門分野  
・整形外科一般

医員  
鞠子 皓一  
(まりこ こういち)  
○出身大学  
・防衛医科大学 平成24年卒  
○専門分野  
・整形外科一般

医員  
熊崎 礼  
(くまさき れい)  
○出身大学  
・島根大学 平成27年卒  
○専門分野  
・整形外科一般



## IMSグループからのお知らせ

### 医療・介護のことでお悩みはありませんか？

IMSグループイムス総合サービスセンターが、みなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。詳しくはホームページをご覧ください。

来訪もしくは、お電話かホームページ〔メールフォーム〕よりお問い合わせください。

**0800-800-1632** (代表) **03-3989-1141** (代表)  
※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。 受付時間/平日8:30~17:30 土曜日8:30~12:30 (日祝・年末年始休み)

イムス総合サービスセンターのサービス内容や、IMSグループの最新情報をご覧ください。

<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビルディング8F

板橋中央総合病院 地域広報誌  
PLAZA IMS(プラザ イムス)Vol.54 新年号  
発行: 板橋中央総合病院 企画広報室  
発行日: 2019年1月  
IMS(イムス)グループ 医療法人社団 明研会  
**板橋中央総合病院**  
〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-12-7  
TEL.03(3967)1181

— 理念 —  
安全で最適な医療を提供し、  
「愛し愛される病院」として社会に貢献する。

〈基本方針〉 Fundamental Purpose

1. 二次救急指定病院として「断らない医療」を提供するために全力を尽くす。
2. 地域中核病院として地域連携を強化し、紹介・逆紹介に注力して地域包括ケアシステムに貢献する。
3. IMSグループ基幹病院として接遇マナーとコミュニケーション能力を備えた職員を育成する。



プラザ イムス 新年号 Vol.54

板橋中央総合病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

## 新年のごあいさつ



にいみ よしなり  
院長 新見 能成

新年あけましておめでとうございます。  
板橋中央総合病院は、  
今年も地域の皆様の健康を全力で守ります。

医療の世界では、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる2025年問題が注視されています。全人口の4人に1人が後期高齢者となる超高齢化社会が目前に迫っているのです。これ以上少子高齢化が進むと、これまでのシステムでは十分な医療を提供できません。国の対策としては、病院ごとに地域で果たす役割を分け、機能の異なる病院が協力し、最終的にかかりつけ医が在宅でフォローアップするシステムを準備しています。病院の役割は、提供する医療によって急性期、回復期、慢性期などに分けられています。

板橋中央総合病院は今後も急性期医療を提供する病院として活動していきます。急性期病院としては大学病院について診療密度の高いクラスに分類されています。このクラスの病院は板橋区では板橋中央総合病院だけです。急性期病院は、急性期に高い水準で効率の良い医療を提供し、そのあとは患者様を回復期病院やかかりつけ医にご紹介していきます。そうすることで回復期、慢性期から在宅医療まで一貫したサービスを提供できるのです。

板橋中央総合病院はイムスグループ内における医療連携を生かし、在宅まで縦に連携した医療、そして見たい時に主治医の顔を見られる安心・安全の医療を目指していきます。今年も皆様がたのご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

# 診療科の紹介



当院の整形外科は、整形外科領域全般を扱っていますが、特に急性期の医療、重症で手術を要する患者の治療を中心に行っています。人工股関節置換術、人工膝関節置換術は最新技術を用いた低侵襲手術を行っており、患者様の早期退院・早期社会復帰を可能としています。

スポーツ整形外科の部門では膝・肩の関節鏡視下手術を積極的に行っています。手外科では手外科専門医により腱断裂・末梢神経損傷・血管損傷に対する治療などを行います。マイクロサージャリーの技術により手指切断例に対する再接着術も行っています。



## 主な対象疾患

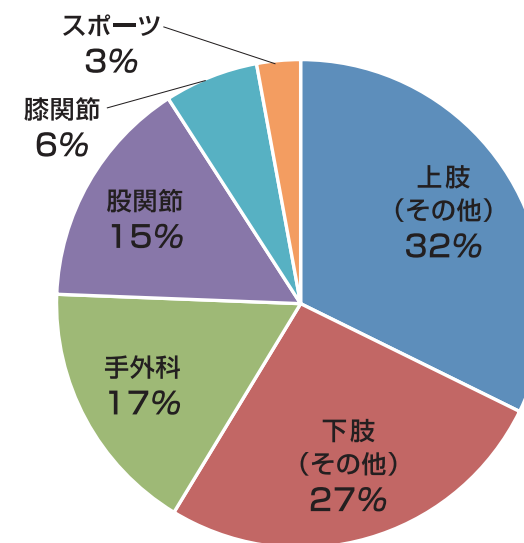
股関節、膝・スポーツ医学・脊髄、手外科に分けて広い疾患領域をカバーしています。また、外傷を中心とした運動器疾患のプライマリーケアも行っています。

- ◎ 変形性股関節症
- ◎ 大腿骨頭壊死
- ◎ FAI
- ◎ 変形性膝関節症
- など

## 実施可能な検査・治療

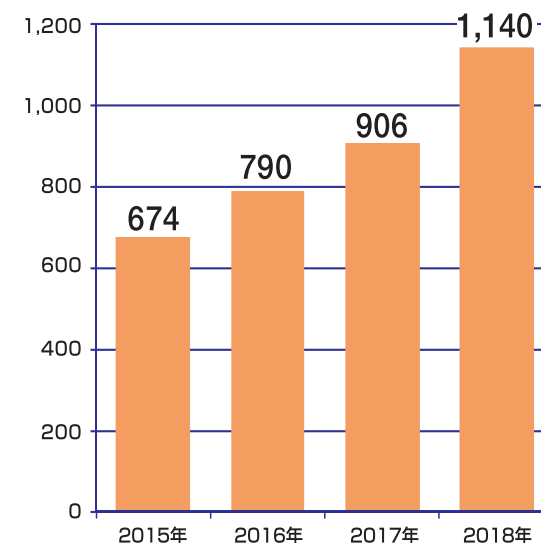
- ◎ 関節鏡検査および手術 (膝関節、股関節、肩関節)
- ◎ 小侵襲人工関節手術 (股関節、膝関節)
- ◎ マイクロサージャリー
- ◎ その他外傷に対する小侵襲手術
- など

## 整形外科の部位別手術件数 (2018年)



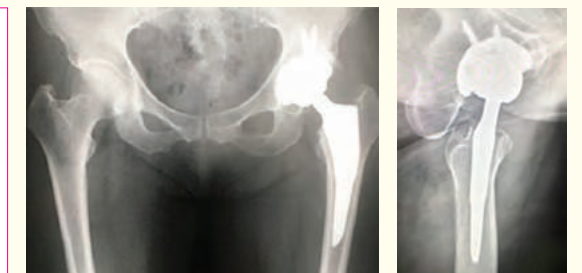
部位	件数
上肢(その他)	368
下肢(その他)	301
手外科	193
股関節	174
膝関節	71
スポーツ	33
総計	1,140

## 整形外科の年別手術件数



## 人工股関節外来

当院では仰臥位にて筋間完全温存によるMIS THAを行っています。入院期間は7~14日にて独歩による退院が可能です。術前貯血をしなくても輸血の必要なく手術可能であり、脱臼や感染は限りなくゼロに近い成績を報告しています。



## 人工膝関節外来

当院では患者様のニーズに沿った適応で機種を使い分けています。入院期間は7~14日にて独歩もしくは1本杖による退院が可能です。輸血の必要もなく手術可能であり、早期回復に向けて術直後からのリハビリテーションに取り組んでいます。



## スポーツ整形外科

スポーツ疾患に対して関節鏡視下手術を用いた最小侵襲手術を行っています。膝関節に関しては半月板縫合、ACL/PCL断裂再建術を行います。肩関節に関しては腱板断裂、関節唇損傷、反復性肩関節脱臼に対して鏡視下手術を行います。腱板損傷を合併した変形性肩関節症にはReverse Shoulder Arthroplastyも対応しています。

